

「安心して暮らせる

宝の島づくり」の実現に向けて

バイオマスタウン構想を策定

市では、地球温暖化の防止や資源循環型社会の構築などを図るため、「天草市バイオマスタウン構想」を策定しました。これは、安心して暮らせる宝の島づくりの実現に向けて、生ゴミや生活排水汚泥などのバイオマスを、エネルギーや肥料などとして活用する取り組みを市内全域で推進するため策定したものです。

今号では、同構想の概要などについて紹介します。

バイオマスとは

バイオマスとは、動植物などによって生み出される再生可能な有機性の資源で、石油や石炭などの化石資源を除いたものをいいます。具体的には、生ゴミ・生活排水汚泥・家畜の排せつ物や、稲わら・間伐材、さとうきび・トウモロコシなどがあります。

バイオマスは、石油や石炭

バイオマスの利活用

バイオマスタウン構想で

などと違って、適切に管理すれば枯渇することがなく、永久に使い続けることができま。また、エネルギーとして活用しても、大気中の二酸化炭素を増加させず地球温暖化の防止につながるなど、環境にやさしい資源といえます。

は、市内にあるさまざまなバイオマスを積極的に利活用するため、次の6つの利活用テーマに沿って、各種の取り組みを進めていきます（7ページのイメージ図参照）。

- ① 廃食用油の利活用・菜の花プロジェクトの推進
廃食用油の収集地区を市内全域に拡大するとともに、現在、市などが取り組んでいる菜の花プロジェクトをより一層推進していきます。また、廃食用油から製造する軽油代替燃料（バイオディーゼル燃料）を市のゴミ収集車などのほか、農業の機械や船舶などにも活用していきます。
- ② 生ゴミ・生活排水汚泥の利活用（バイオマスセンター）

の建設

バイオマスセンター（仮称）を建設して、生ゴミや生活排水汚泥、軽油代替燃料を製造する際に発生するグリセリンなどを適切に管理し、生ゴミなどから得られる電気等のエネルギーや残さを、同センターなどで利用したり、肥料として活用したりします。

- ③ 木質・草木系バイオマスの利活用

剪定した枝や間伐材などの堆肥化に向け、市と造園業者などが連携した取り組みの実施について検討します。

- ④ 家畜排せつ物の利活用

堆肥化されている家畜排せつ物の利用促進を図るとともに、JAなどと連携して良質な堆肥の製造を推進します。

- ⑤ 食品加工残さの利活用

市内の旅館やホテル、飲食店などから出される生ゴミを、家畜などの飼料として活用する検討を行います。

- ⑥ 市民啓発によるバイオマス製品利用の拡大

トウモロコシなどのでんぷん質で作られた環境にやさしいバイオマスプラスチック製品の利用推進を図るため、市内の食品加工業者やホテル、飲食店などに同製品の利用を呼びかけます。

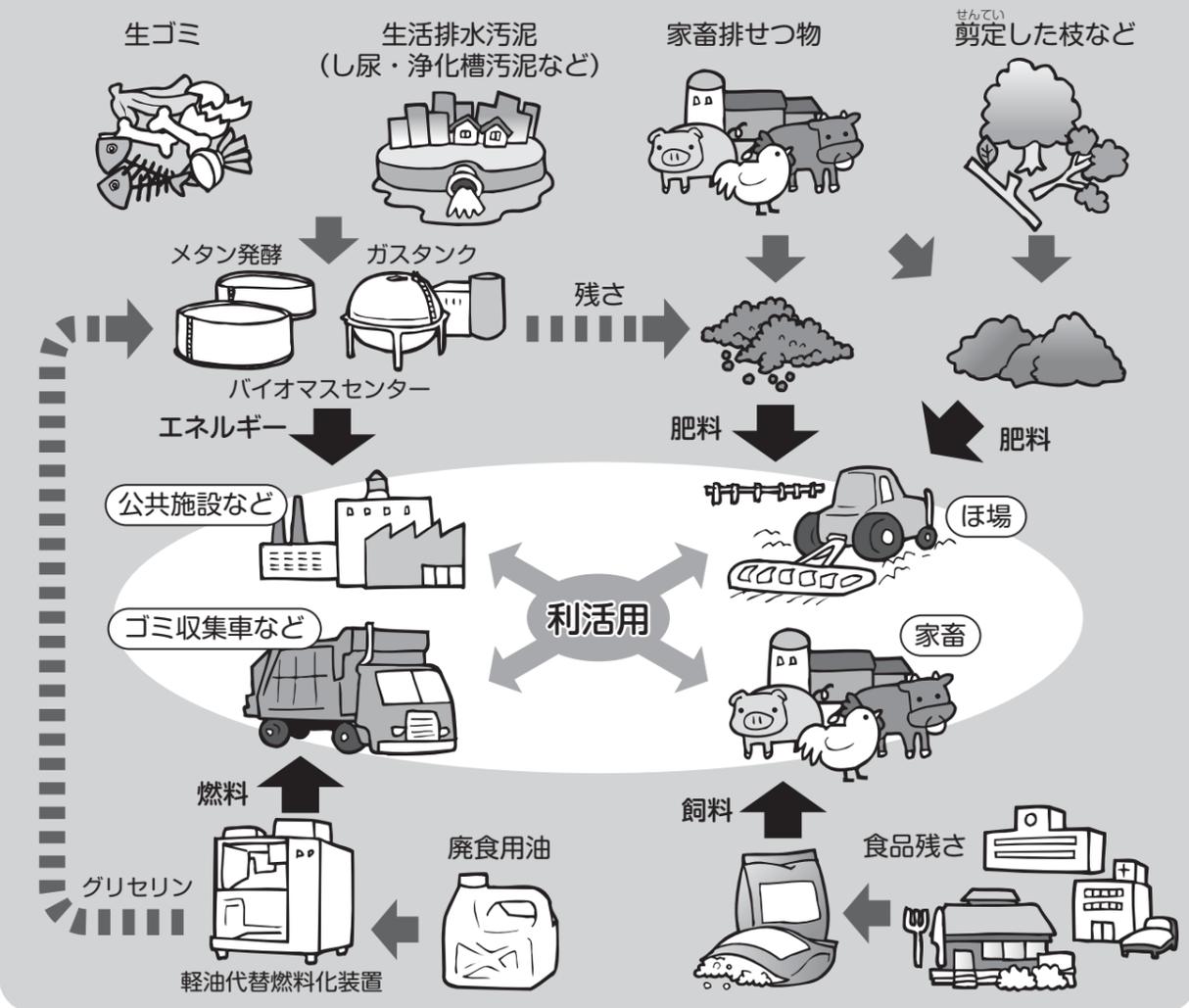
構想実現による効果

バイオマスタウン構想を

構想の実現に向けて

バイオマスタウン構想の実現に向けて、今後、バイオマスの6つの利活用テーマごとに、市民の皆さんや民間企業の事業者などをつくる検討委員会を設置し、具体的な取り組みの内容などについて検討します。また、これとあわせて市環境審議会などとも協議しながら、各種の事業を実施、推進していきます。

バイオマスタウン構想のイメージ図



現することで、次のような効果が期待できます。

- 【環境的效果】
石油や石炭の代わりにバイオマスをエネルギーとして活用することにより、二酸化炭素を増加させず、地球温暖化の防止につながります。

また、バイオマスを循環利活用することで、資源循環型社会を構築することができま

【経済的效果】

新たな産業が創出され、雇用拡大を図ることができま。また、生ゴミの分別収集などによりゴミ排出量が減少するため、廃棄物処理施設にかかる経費が少なくなります。

【地域活性化につながる効果】

バイオマスを利活用するなどの環境にやさしいまちづくりの推進と、菜の花プロジェクトのさらなる推進による菜の花や菜種油の産地化により、環境や観光面などで本市のイメージが向上し、地域の活性化につながります。

「天草市バイオマスタウン構想」は、国の基準を満たしている計画として認められ、3月31日に農林水産省のホームページで公表されました。

なお、同構想は市役所本庁と牛深支所・環境課、その他の支所・市民生活課でご覧いただけるほか、市のホームページにも掲載しています。

※詳しいことは、本庁・環境課環境政策係 ☎11111
内線1282へ。